



千地申第2号

## 「第38回定期大会の発言に踏まえた 申し入れ」の第2回団体交渉！その1

3. 久留里線久留里～上総亀山間の交通体系に関して、国鉄改革のスキームに則り、沿線地域の発展に貢献すべく内房線との直通運転や、通勤・通学時間帯はもとより観光目的等の旅客流動にも対応した輸送体系とし、利便性の向上を図ること。

(会社回答)

お客さまのご利用状況にあわせた列車の設定や車両編成の充当等、様々な要素を考慮しながら計画していく考えである。

(組合) 現段階で路線廃止はあるのか

**確認**

(会社) 廃線ありきの議論ではない

(組合) 千葉県や君津市とどのような議論をし、どのような意見をもらっているのか

(会社) これまで住民説明会を2回実施している。持続可能な交通体系など総合的な観点から地域と議論している。参加した住民から人口減少についても話されているが、学校や高齢者から存続してほしいという声をもらっている。活性化させるために何かできないか議論している。地域住民対象にアンケートも実施している。お客さまに来てもらう取り組みも必要であり、JRと市でやるべきとなったが具体的には何も決まっていない

(組合) 国鉄改革のスキームとして地方ローカル線は首都圏で赤字を補填することであったがどうか

(会社) 国鉄改革から様々な環境の変化と「地域公共交通の活性化と再生に関する法律」の一部改正があった。会議の頻度は決まっていないが、地域と連携してどのようにやるか議論している

(組合) 利用しづらいから、利用状況が悪いのではないのか

(会社) 利用状況は毎年見てダイヤを設定している

(組合) 今後は観光についてどのようにしていくのか

(会社) 観光については地域を含めてやれることがあればやっていく。現場社員の発意から地域共創の魅力を発信する

7. 繰り返し発生している感電死傷事故の原因について背後要因を含めて明らかにするとともに、現場の声を踏まえた現実的に実行できる対策を講じること。

(会社回答)

原因については、引き続き調査中であり、必要な対策を実施していく考えである。

(組合) 原因について究明中なのか。

(会社) 労基署や警察の調査が引き続き継続中である。労基署や警察が入り、我々は何もできない

(組合) 調査中だが対策は、しているのか。また教育についてはどうか

(会社) 繰り返さないために、電話連携確認をしてから作業着手するようなワンクッション置くような対策をしている。実際に触って訓練している。守らないことでのリスクを理解してもらい、対策を守る風土を創り、JR本体とパートナー会社含めて実技訓練を実施している。

(組合) パートナー会社から協力会社への教育・訓練に本体は介入できないのか

(会社) 本体は介入はできない。パートナー会社から協力会社へ教育・訓練を実施する。本体は安全パトロールで進捗状況を確認できると考えている。

(組合) 作業時間が短い中で対策が多く、実作業時間が取れない。命を守るためなら列車を遅らせるくらい余裕をもってやらないと焦りが出てくる

(会社) 作業時間を確保のために会社は取り組んできている。安全第一の手順を踏んで間に合わず遅れることについては仕方がない

**確認**

(組合) 工期内に収めるといけない。時間がかかると金がかかるので委託費を増やすことについてはどうか

(会社) 工期が短くなると事故のリスクが増える。時期の繁閑がなくなるように年間通して平準化の取り組みをしている



千地申第2号

## 「第38回定期大会の発言に踏まえた 申し入れ」の第2回団体交渉！その2

8. 過半数代表者選挙については、各職場で発生している公正・公平とはならない事象を是正するとともに、7月の各統括センター発足等において実施した過半数代表者選挙において、推薦人を選出した経緯を明らかにすること。

(会社回答)

過半数代表者は、労働基準法施行規則等に基づき選出を行っているところである。

(組合) 労働基準法施行規則等というのは具体的にどのような内容なのか

(会社) 労基法に書かれているのは過半数代表者を選出する。「等」というのは本社からの通達などを指している

(組合) 投票する場所が現場長の前や衝立がないなど、この投票は公平・公正なのか

(会社) 具体的な場所があればその都度教えてほしい。指導をしている。人がいればはけさせる配慮はしている。衝立はマストではない

(組合) メール投票は誰に入れたかわかるが、それが公平・公正なのか

(会社) 会社はツールとして認めている。公平・公正でなければやめている。現場長は誰が誰に投票したのかわからないようにしている。取り扱いが煩雑になるので、メールか郵送かは、都度支社事務局で判断している。

(組合) 所信表明が郵送されていないことがあった。郵送が遅れた。それは公平・公正なのか

(会社) 所信表明が送られなかったことは好ましくはない。郵送が遅れたことは課題である。遅配は想定外であった。これまで以上に早めにとというのは意識させ、指導し、共有する。

**確認**

(組合) 推薦人の経緯について伺いたい

(会社) 現場の声である。立候補者の顔と名前を紹介しないとならないと声が上がったので推薦人という掲示を認めた。統括センター化に対してこのような声上がるのは当然のことである。どのような人が立候補しているのか知らないといけない

(組合) 立候補者に対して推薦人がいないとだめなのか。実際にいないとだめとなっている職場がある

(会社) そういうわけではない。勘違いされているところがあれば教えてほしい

(組合) 通達に推薦人について謳われていない。本人から推薦人に立候補するのになぜ触れないのか。推薦人になりたい人がわからなくなっていることが課題である

(会社) 検討する。

(組合) 現行、社員代表者から要員が足りないという声が出ていないのか

(会社) 出ている

(組合) 社友会では、ライン上にこの人に投票してくださいときている。以前の交渉の中で一般的な選挙と同等に扱うべきとしてきた

(会社) ラインはツールであり、そこまで管理することができない。社友会はこの場で議論できない。

大会での発言をもとに2回の交渉を行ってきました！  
これからも安全で安心して働ける職場環境創いと  
労働条件向上を実現するため組合員の声をもとに  
改善を図っていきます！